

114
A 4332

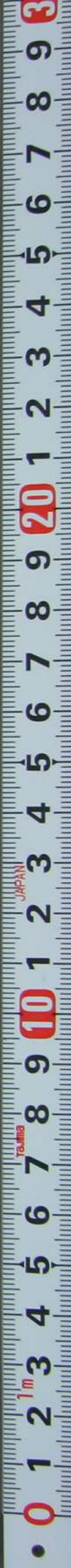
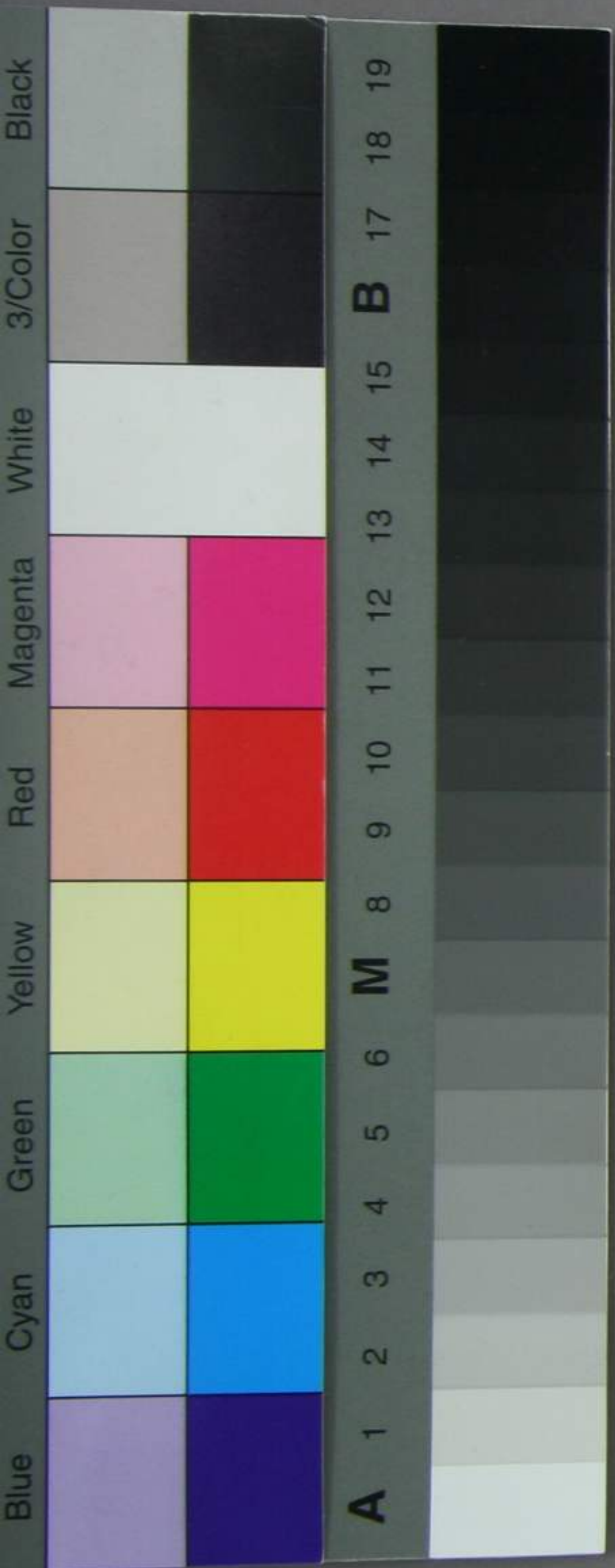


陸軍砲兵廠經費之議

第一 高命ニ由リ調理ス

該廠ハ即チ陸軍銃砲兵仗等ノ軍番ヲ製作シ以テ本省ノ要需ニ充ツ則チ省中ノ一ノ工業場ナリ
而シテ其諸費ハ渾テ一般通常ノ經費中ニテリ
齊シク其例規ニ據テ整理決算セリ
凡ソ諸官廳ノ工事ニ係ル部分ハ通常經費ト一
種之ヲ異別シ以テ作業費規則ヲ設ケ各之レカ
資本ヲ定ム即チ海軍省ノ横須賀造船所工部省
ノ鑛山鑛道電信諸製作局等ニ於ケル之レナリ
故ニ砲兵廠ノ如キハ一ノ工事ニシテ最モ作業
費規程ニ准依シテ之レヲ處弁スルヲ允当ノモ

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈



ノトス
故ニ十一年度以降實際ニ舉行スヘキモノトシ
其資本原額ヲ定メ及ヒ十一年度豫算ヲ精理ス
ルノ順序共ニ之レカ完結ノ標準ヲ立ツルカ
如シ

砲兵廠

作業費資本原額目途高三拾四万二千三百四
該額ハ十一年度ニ於テ準備金ヨリ貸與シ而シ
テ該額償却ノ為メ更ニ歳出第十款(種々ノ雜出
中)同金員ヲ編算交付スヘキモノトス
而シテ歳出本部ニ於テハ其償却ノ金額ヲシテ
即チ決算ニ立ツ
該廠ニ於テハ其計算記簿ノ方法ニ於テハ作業

規程ヲ遵行スヘキトスト雖氏實際ノ需求ニ
應シ其物品ハ本省等ニ交付スルカ如キノ手續
ハ素ヨリ従前ニ異ナルトナシ本省中別ニ此代
價ヲ拂フヘキモ
本廠ニ償フ以テ之レヲ
故ニ名ハ作業資本ヲ冠スルモ其實十一年度ニ
於テハ拂切ノ經費ニ同シ
十一年度ニ於テハ唯作業費規程ニ准スルノ端
緒ヲ開クニ止マリ實際一般ノ作業定規ニ准ス
ルニ至ラサルヲ以テ前述ノ如クスルモハ毎歳
別ニ資本ヲ交付セサルヲ得ス此ク計算ノ完全
ヲ得難キノ要法ハ永ク之レヲ施行スヘカラサ
ルハ勿論到底之レヲ判別セル効用ノ奉リヘキ
モノナシ

故二十二年度ニ於テハ從前砲兵廠ニ儲藏スル
物品代價ト該廠經費(三拾四万二千三百圓)ノ内全
ク資本ニ属スル員額トテ供セテ更ニ該廠ノ營
業資本原額トシテ一般ノ需求ニ備ヘ其既
製作物品ヲ本省等ニ交付スルノ時々其代價以
價ナルモハ砲兵廠三拾四万二千三百圓ノ内購求
ハ編入セシメ本原額ニ属スルノ經費中一移美
シテ價ト購求代價ヲ本省ノ經費中一移美スル
收メヘキモノトス茲ニ於テ創メテ普通ノ作業
費規程ニ協ヒ漸次其方法ヲ懲懲セシムルニ至
ラハ之レヲ維持スルノ難キニアラサルヘシ
前述ノ手續ヲ了スルモノトシ此際十一年度歳
入出豫算表例言ニ掲クル大意尤ノ如シ

一曾テ海軍省經費中ニ編入アリシ英國一注文
ノ軍艦ハ前年度ニ於テ悉皆其代價ノ拂入ヲ
完了シタルヲ以テ本年度ニ至リ歳出八拾七
万余圓ヲ減少セシメ因リ更ニ該額ノ内ヲ
以テ其軍艦運轉ノ諸費トシテ貳拾五万圓及
ヒ横須賀造船所船渠増築ノ為メ五万八千圓
余目途高武拾四万圓余事業ノ緩急ヲ参酌シ
期ニ於テ要ヲ支出シ尚ホ剩余ヲ以テ陸軍砲
兵廠兵器製造ハ素々作業ニ属スル事項ナル
ヲ以テ本年度以降作業費ノ規則ニ准シ營業
資本ノ為メ三拾四万圓余ヲ準備ヘ挿入シ該
廠ニ交付ス是皆軍艦代價ノ減省セシモノヲ
以テ通融奉行スルモノナリ

而シテ十二年度ニ於テハ前陳ノ如ク一般作業ノ程規ニ准依スルニ至リ該年度ノ例言ニ掲リヘキ大意尤ノ如シ

一陸軍省ノ前期豫算表出高ヨリ増加セシハ砲兵廠作業費ハ即チ前期ニ畧陳セシカ如ク該年度ニ於テハ唯其端緒ヲ開クニ止ル而シテ尔後実驗ヲ經ルニ於テ尚ホ其適否ヲ參査ル本期以降完ク一般作業ノ通規ニ准シ砲兵廠製造ノ兵器ハ本省ニ購買スルノ順序ニ整正セリ故ニ前期豫算表第 欵第 項ニ掲出セシ員額ノ内全ク購求代價ニ属スル分ヲ本項ニ編纂セシニ由ル

第二 検査局考按

砲兵廠經費

五拾万圓

内

新式銃及彈藥製造及々銃器修理費

陸軍省請求十一年度以降十ヶ年間

年々貳拾八万貳千五百圓ノ慶

拾八万八千三百圓トス

十一年度ヨリ向十五ヶ年間臨時交付スヘキ分

是ハ請求高十ヶ年ノ慶即今財計ノ都合ヲ

參査シテ之レカ年期ヲ延緩シ十一年度以降

十五ヶ年間交付スヘキモノトス

即チ十ヶ年間ノ請求

高ニ充ルモノナリ

通常ノ分

三拾壹万千七百四

十一年以降平常
交付ノハキ分

是ハ十年年度陸軍省豫算ノ高ハ三拾四万千三百四ノ處前項ヲ供セテ五拾万四ノ高ヲ根
基トス故ニ本行ノ如シ

右歳出第十款(種々ノ雜出)ニ編入ス尤此負額ハ
銃砲彈藥等購求ノ代價及ビ作業資本ニ属スル
モノナリ故ニ各其程規ニ准シ追テ區別スヘキ
モノトス

而シテ右首級ノ例言ニ説明スル大意尤ノ如シ

一陸軍省銃砲彈藥製造等ノ費用ニ

於ケル歲西南ノ事変ニ由リ毀損或ハ

消耗一分不貽ヲ以テ曾テ英國ニ注文ノ軍艦

代價ハ拾壹万ハ已ニ前期マテニ於テ悉皆之

レカ仕拂ヲ完了シ本期ニ於テ著シク其減少

ヲ視ル故ニ軍艦ノ運轉ニ属スル諸費或拾五

万四及ビ横須賀造船所船渠築造費五万八千

五百四余テ費額ノ目途或拾四万四千余ニシ

本分期割ニ於テ要スルノ額ノ全クヲ支出シ尚ホ其剩

餘ヲ以テ前述兵器製造等ノ為ノ陸軍砲兵廠

ハ五拾万四ヲ供給シ尔後作業費規程ニ由リ

處弁セシムルモノナリ

